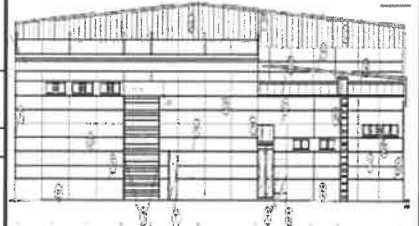


CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | 河長樹脂工業株式会社第二工場 新築工事 | 階数 | 地上1F |
| 建設地 | 京都府向日市森本町佃8、9、10-1 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 工業地域、防火地域 指定なし | 平均居住人員 | 270 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 1,920 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 事務所、工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2021年12月 予定 | 評価の実施日 | 2021年4月12日 |
| 敷地面積 | 4,512㎡ | 作成者 | 上本善紀 |
| 建築面積 | 2,700㎡ | 確認日 | 2021年4月17日 |
| 延床面積 | 2,728㎡ | 確認者 | 河原 祐己 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

| | |
|----------|------|
| ①参照値 | 100% |
| ②建築物の取組み | 91% |
| ③上記②以外の | 91% |
| ④上記+ | 91% |

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.7

R 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|---|
| 総合 主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。 | | その他 特になし。 |
| Q1 室内環境 JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。 | Q2 サービス性能 事務室の天井高2.9m以上。 階高:3.9m以上。 | Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。 |
| LR1 エネルギー BPIm=0.70。 | LR2 資源・マテリアル 「躯体+軽鉄十仕上げ材」により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 | LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して91%。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される